



## 困難を乗り越える力を

校長 荒木克之

1学期もそろそろ終わりに近づき、長く続いた残暑も、ようやく落ち着きを見せてきたようです。10月下旬の運動会に向けて忙しくなるこの時期、子どもたちは暑さに負けずに元気よく、学習や運動に取り組んでいます。

さて、毎年、多くの学校で当たり前のように取り組んでいる運動会ですが、子どもたちの力を大きく伸ばす行事として、大切にしていきたいと考えています。そして、私が運動会を通じて伸ばしたい子どもたちの力の1つに「レジリエンス」があります。

レジリエンスとは、「立ち直る力」「回復力」「弾力」という意味（実用日本語表現辞典より）があり、教育の世界でも、近頃よく聞かれるようになりました。私なりにもう少し解釈すると「困難な状況になっても、しなやかに受け止めて適応し、回復する力」と言えると思います。私たち大人も、日々の生活の中で、様々な困難に直面することがあります。そのとき、どのように対処し、問題を解決していくのかを考える力が必要です。これから変化の大きい時代を生き抜いていく子どもたちにとって、このレジリエンスの心を育てることは、非常に大切です。

学校生活を送る中で、子どもたちにもいろいろな困難なこと、辛いこと、ストレスがかかることがあります。しかし、そのストレスを全て取り除くことはできません。また、仮にできたとしても、それでは自分自身で問題を解決できる力が全く身につかない、ということになってしまいます。レジリエンスの心を育むためには、困難に向き合える機会を大切にする必要があります。

運動会という行事に向けて、子どもたちは、踊りや演奏を練習したり、競走したりします。ときには、上手くいかないこともあると思います。疲れがたまってイライラするようなこともあるかもしれませんが、でも、運動会を成功させるという大きな目標がある中での困難に向き合う活動は、子どもたちのレジリエンスを高める絶好の機会であると言えます。投げやりになったり、手を抜いたりすることで、課題から目を背けることもできるかもしれませんが、そうではなく、力いっぱい全力で取り組み、困難に向かい合い、乗り越え、自分自身の力を伸ばして欲しいと願っています。

実は、レジリエンスの力を伸ばすためには、家族や友だちの力も非常に重要です。支え合い、励まし合う中で、「自分は一人ではない」と実感することが、困難に立ち向かうときに、子どもたちを勇気づけてくれます。困ったときに助けを求め、一緒に考えてくれる存在がいることも、結果としてレジリエンスを高める助けとなります。

10月は、ご家庭でも運動会のことについて話題に上がることも多いかと思います。本番に向けて、ぜひ子どもたちとたくさんお話をし、励まし、見守っていただければと思います。そして、運動会の本番では、子どもたちの頑張っている姿をご覧いただき、その成長の喜びを子どもたちに伝えていただければありがたいです。運動会の成功に向けて、子どもたちの成長のために、今後とも、ぜひご協力をよろしくお願いいたします。